

部局名: 県土整備部

平成29年度当初予算知事査定ヒアリング資料

順番	細事業名	事業費(単位:千円)	ページ
1	公共事業	63,629,517	1
合 計		63,629,517	

# 1 平成29年度公共事業予算要求の考え方

## 県土整備部

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」に基づき、選択と集中を図りながら、自然災害からの被害を軽減させる「減災」の観点、国内外の人と事業を呼び込む取組を展開するための基盤の観点から必要な社会資本整備等を進めます。

特に、熊本地震や鳥取地震、相次ぐ台風による豪雨など頻発する災害や、近い将来に発生が懸念される南海トラフ地震から県民の皆さんの生命と財産を守るため、河川管理施設、海岸保全施設、土砂災害防止施設等の整備を進めます。

また、県民の皆さんの安全・安心を支えるとともに、地域の成長を支え、MICE誘致やインバウンドの拡大などポストサミットの取組の基盤となる高規格幹線道路および直轄国道の整備を促進します。県管理道路についてはバイパス等の抜本的な整備に加え、柔軟な対応を織り交ぜた整備を進めます。

### (1) 自然災害から生命と財産を守る防災・減災対策の推進

#### ○河川管理施設の地震対策

466,130千円

河川河口部の大型水門、河川堤防、ダムゲートについて、地震発生後もその機能を維持するため、地震対策を進めます。

#### ○海岸堤防の地震・津波対策

2,935,590千円

地震の揺れや液状化による変状を防止し、堤防としての機能を維持するための地震対策を進めます。また、津波が堤防を越流した場合においても、直ちに堤防を崩壊させないため、平成28年度から着手した「海岸堤防強靱化対策」を進めます。

#### ○港湾施設の地震・老朽化対策

364,241千円

利用者の安全性や港湾の機能を確保するため、施設の点検・補修を実施するとともに、岸壁の更新・大規模修繕等の老朽化対策を進めます。また、大規模地震に備え、緊急輸送道路の機能を確保するため、臨港道路橋梁の耐震対策を進めます。

### ②激化する豪雨に対応するための対策

#### ・河川の浸水想定区域図作成

80,000千円

水防災意識社会再構築ビジョンに基づき、河川の浸水想定区域図を作成し、市町に提供することにより、市町の洪水ハザードマップ作成を支援します。

#### ・土砂災害警戒区域等の指定推進に向けた基礎調査の実施

648,000千円

土砂災害のおそれのある区域における危険の周知と土砂災害警戒区域等の指定推進に向けた基礎調査を実施します。

○施設整備の推進

- ・河川改修事業 3,032,170千円

地域の治水安全度を向上し、洪水被害を軽減するため、川幅を拡げるための堤防整備や治水上支障となっている橋梁等の改築を進めます。

- ・土砂災害防止施設整備事業 2,510,184千円

土石流等による災害から生命や財産を守るため、砂防えん堤や擁壁等の土砂災害防止施設を整備します。

○河川堆積土砂の撤去 595,000千円

河川の流下能力を回復するため、堆積土砂の撤去を行います。

撤去にあたっては、撤去箇所の優先度を関係市町と共有しながら実施します。

(2) 安全・安心や地域の成長を支える道路網の整備と機能保全

①高規格幹線道路および直轄国道の整備促進 10,727,262千円

高規格幹線道路および直轄国道の整備促進を図るとともに、未事業化区間の早期事業化に向けた取組を進めます。

【主な路線】

新名神高速道路、東海環状自動車道、国道1号北勢バイパス、国道23号中勢バイパス、国道42号松阪多気バイパス、国道1号桑名東部拡幅（伊勢大橋架替）、熊野尾鷲道路（Ⅱ期）、熊野道路、新宮紀宝道路 等

【うち平成29年度供用予定】

国道42号松阪多気バイパスの一部

②県管理道路の整備推進 10,994,652千円

高規格幹線道路等へのアクセス道路やバイパス等の抜本的な整備に加え、柔軟な対応を織り交ぜながら、県管理道路の整備を推進します。

【主な路線】

国道477号四日市湯の山道路、国道167号磯部バイパス、国道167号鵜方磯部バイパス、国道169号土場バイパス、国道368号大内・伊賀名張拡幅、国道422号三田坂バイパス、県道湯の山温泉線、県道青山美杉線 等

【うち平成29年度供用予定】

国道422号三田坂バイパス、国道167号鵜方磯部バイパス、県道青山美杉線

③道路施設の老朽化対策の推進 1,611,410千円

道路施設の老朽化が進むなか、県民の安全・安心を確保するため、道路施設について、定期点検（5年に1回）を実施のうえ、それに基づく修繕を行い、道路施設を良好な状態に保ちます。

(3) 流域下水道の整備推進と施設の維持管理

① 下水道が使用可能な地域の拡大

○ 志登茂川浄化センター整備事業

1, 346, 175千円

津市北部地域で新たに下水道が使用可能となるよう、志登茂川浄化センターの供用開始に向けた整備を行います。

○ 南部浄化センター第2期整備事業

848, 438千円

鈴鹿市、亀山市、四日市市南部で下水道使用可能な地域の拡大に向けた南部浄化センター増設用地の造成（海上埋立）を進めます。

○ 宮川流域下水道幹線管渠延伸事業

2, 052, 570千円

伊勢市、明和町で下水道使用可能な地域の拡大に向けた流域下水道幹線管渠の整備を進めます。

② 下水道施設の老朽化対策および地震対策の推進

1, 592, 293千円

老朽化が進む汚水処理施設の更新および大規模地震に備えるため浄化センターや幹線管渠の地震対策を進めることにより、下水道機能の維持に努めます。

## 2 平成29年度当初予算要求状況について

### 1 事業別総括表

(単位:千円)

	平成28年度 当初予算額	平成29年度 当初予算 要求額	前年度比
一般会計 計	78,454,146	73,525,699	93.7%
公共事業	62,827,194	57,466,445	91.5%
国補公共事業	24,208,098	22,871,559	94.5%
直轄事業	16,426,291	13,602,414	82.8%
県単公共事業	16,450,266	14,823,577	90.1%
建設	6,853,039	5,705,097	83.2%
維持	8,803,623	8,486,281	96.4%
調査等	793,604	632,199	79.7%
一般会計公共事業計 (受託・災害除く。)	57,084,655	51,297,550	89.9%
受託公共事業	616,857	1,390,750	225.5%
災害復旧事業	5,125,682	4,778,145	93.2%
非公共事業	15,626,952	16,059,254	102.8%
【再掲】土木費 計	73,328,464	68,747,554	93.8%
特別会計 計	14,535,061	14,887,205	102.4%
港湾整備事業特別会計	165,682	165,682	100.0%
非公共事業	165,682	165,682	100.0%
流域下水道事業特別会計	14,369,379	14,721,523	102.5%
国補公共事業	5,880,049	5,880,116	100.0%
県単公共事業	117,967	162,956	138.1%
受託公共事業	60,000	120,000	200.0%
非公共事業	8,311,363	8,558,451	103.0%
公共事業計	68,885,210	63,629,517	92.4%
総 計	92,989,207	88,412,904	95.1%